

令和7年度 第3回博物館協議会

日 時 令和8年2月13日(木) 午後2時～3時

場 所 安城市歴史博物館2階講座室

出席委員 高山 忠士 会長

永井江美子 副会長

奥川 正規

曲田 浩和

小早川 道子

内藤 路子

事務局 加藤 浩明 生涯学習部長

錦見 和彦 安城市歴史博物館館長

野上真由美 学芸係長

後藤麻里絵 主査

千田 佑香 主事

本部はる香 主事

西村 隼 主事補

小野 麻紀 指定管理者

安祥文化のさと地域運営共同体総括責任者

井上宗一郎 指定管理者

安祥文化のさと地域運営共同体副総括責任者

次 第

1 委員辞令公布

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 令和7年度開催済事業報告

(2) 令和8年度事業計画(案)

4 その他

(1) 次年度の日程

(2) 購入資料について

協議事項

(1) 令和8年度開催済事業報告

事務局	【令和7年度開催済事業報告について説明】
指定管理者	【令和7年度開催済事業報告について説明】
会長	人数の把握だけでなく来館者の性質を把握できると今後の展覧会やイベントの対象を考えるのに役に立つ。例えば滞在時間、どこから来たか、グループの組み合わせなどより具体的に把握できる良い。
委員	ホームページ等の閲覧数などは把握しているのか。
事務局	資料には提示していないが把握している。
委員	教科書がデジタル化していく流れで、子ども達もタブレットですぐにネットで調べることができる環境になりつつある。来館者が減っているとは言っても、デジタルで学び興味を持ってくれる人もいるはず。デジタルの動向を分析できると良い。
委員	今年度の展覧会を見ていると、キャプションの書き方や見せ方等で観覧対象が誰なのか分かりにくいと思うことがあった。安城の人に三河の外のことを説明する場合、三河の外の人に安城のことを説明する場合は、キャプションの書き方も変わってくる。ターゲットが誰なのかを意識して展示してほしい。
事務局	対象者を明確にした上でキャプションや見せ方を工夫していきたい。
委員	担当学芸員から展示解説を聞くと伝えたかったことは理解できるし面白かったと思うが、パネルやキャプションからだけでは伝えたいことが分からないと思うことが多い。
委員	講演会はネット配信していないのか。
委員	講師の許可などの問題もあるのでやったことはない。
委員	興味を持ってでも交通の便が悪いなどの理由で参加できない人もいると思う。ライブ配信をしている学会等も増えているので検討してはどうか。
事務局	その場合は、会員のみや申込者のみか。
委員	ネット配信も手段のひとつであるが展示を観覧したうえでの講演会ということを念頭に置いてほしい。

(2) 令和8年度事業計画(案)

事務局	【令和8年度事業計画(案)について説明】
委員	「石川丈山」展は地元の資料の展覧会か、他館から資料を借りてくるのか。
事務局	基本的に収蔵品が中心。

4 その他

なし